SONY

# デジタルマップ ナビシステム

## 取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

**⚠警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

naviken

NVX-F70

Sony Corporation ©1996 Printed in Japan

CarAV 正しい取付 正しい操作で 安全運転

## ⚠警告 安全のために

### 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号：火災 感電

行為を禁止する記号：禁止 分解禁止

**⚠警告** 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

**本機はDC12Vマイナスアース車専用です**
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

禁止

**前方の視界を妨げる場所に取り付けない**
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

禁止

**助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける**
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

禁止

**運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける**
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。
- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

禁止

**雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない**
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

**配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす**
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。

**パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない**
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

禁止

**ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない**
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

**分解や改造をしない**
火災や感電、事故の原因となります。
電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

**規定容量のヒューズを使う**
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

**⚠注意** 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

**安定した場所に取り付ける**
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

禁止

**TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付ける**
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

禁止

**付属の部品で正しく取り付ける**
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

**本機の通風口や放熱板をふさがない**
フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



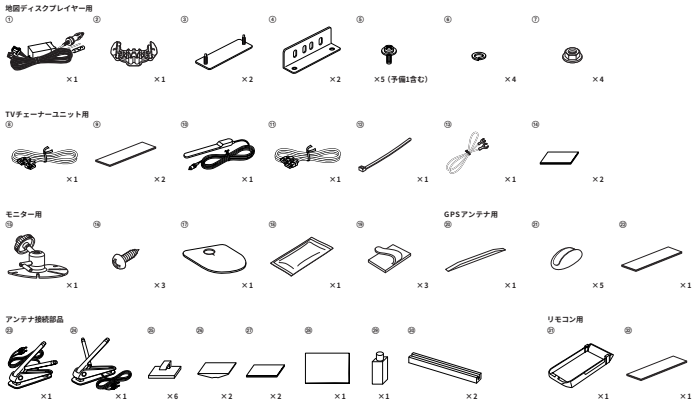
禁止

**アンテナは確実に両面テープで固定する**
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



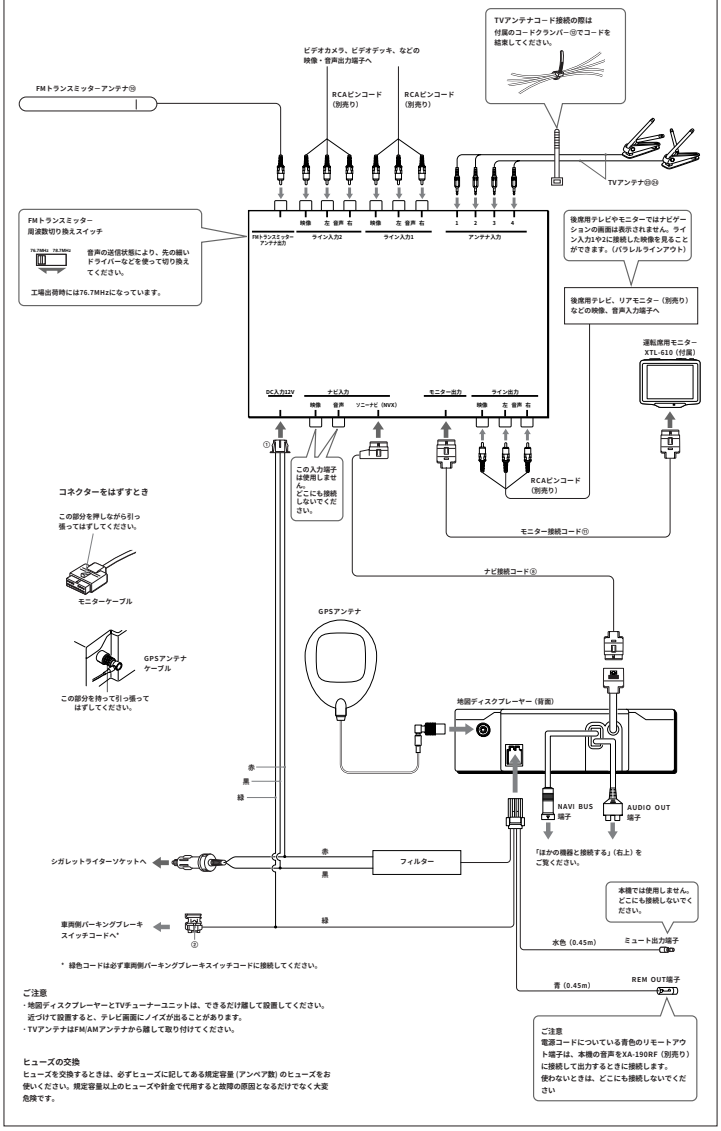
禁止

## 取り付け／接続部品




## 接続

ショート事故を防ぐために
作業中のショート事故防止のため、電源コードのシガレットライターソケットへの接続は必ず最後に行ってください。



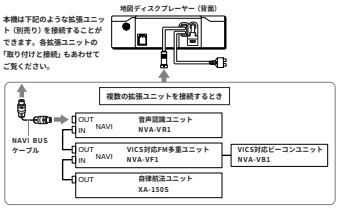

* 緑色コードは必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードに接続してください。

ご注意
- 地図ディスクプレーヤーとTVチューナーユニットは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。
- TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。

ヒューズの交換
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

## ほかの機器と接続する

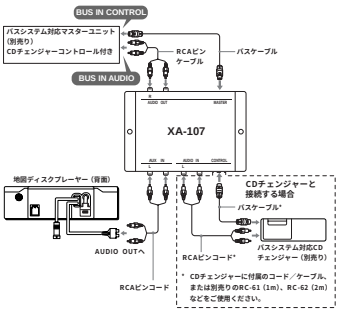
本機は下記のような拡張ユニット（別売り）を接続することができます。各拡張ユニットの「取り付けと接続」もあわせてご覧ください。



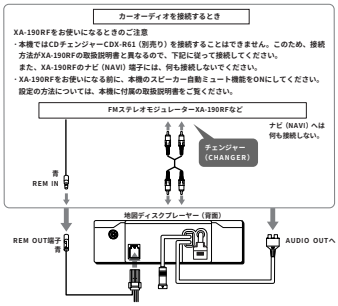

各拡張ユニットを接続するときは以下の点にご注意ください。
- CD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A、165Aは接続できません。
- NAVI BUS延長用の接続コードRC-117（別売り）は、システムの中で一本だけ任意の位置で使用できます。
- ナビシステム本体のNAVI BUSケーブルと拡張ユニットのNAVI BUS OUT端子を接続します。
- 拡張ユニット同士を接続するときはNAVI BUS OUT端子とIN端子を接続します。

## カーオーディオと接続する

ソニーのカーオーディオの場合
本機をソニーのカーオーディオ（マスターユニット）と接続するときは、ソースセレクターXA-107（別売り）を使います。




他社のカーオーディオの場合
本機を他社のカーオーディオに接続するときは、FMステレオモジュレーターXA-190RF（別売り）を使います。




## 車速センサーコード/バックランプの電源ケーブルの接続について

自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源ケーブルを接続しないと、車両後進時の誤差が生じます。車速センサーコードおよびバックランプの電源ケーブルの位置は車両によって異なりますので、必ずお買い上げ店にご相談ください。

### 圧着式コネクター（ピンク）④の使いかた

**1** 圧着式コネクター④から、金具を取りはずす

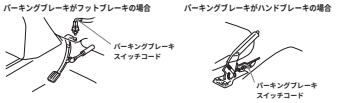
**2** センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクターにとおす

**3** 手順1ではずした金具を取り付ける

**4** ふたをする

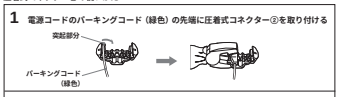
## パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買い上げ店にご相談ください。

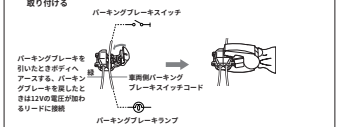



圧着式コネクター②の使いかた

**1** 電源コードのパーキングコード（緑色）の先端に圧着式コネクター②を取り付ける



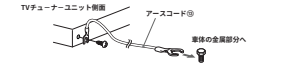

**2** 圧着式コネクターを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける




車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

## ラジオ受信時の雑音を減らすには（一部車種）

FM/AMガラスアンテナを使用している車種では、付属のTVアンテナをお使いになると、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。
その場合、下図のように付属のアースコード㉙で、TVチューナーユニットを車体の金属部分にアースしてください。

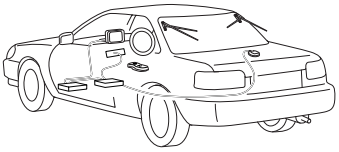



ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3211 ●名古屋(052)232-2411 ●大阪(06)39-5111

4-153-858-816-03* (1)

### 取り付ける前に

設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。

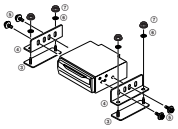


ご注意
次のような場所への取り付けは避けてください。
・高温になるところ。
・直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

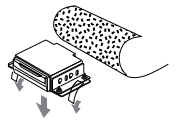
## 地図ディスクプレーヤーの取り付け

助手席の下などに取り付けます。
横置き位置で水平20°以内の傾斜になるように、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。

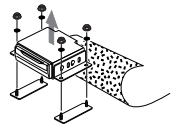
**1** 地図ディスクプレーヤーに取り付け金具を仮止めします。



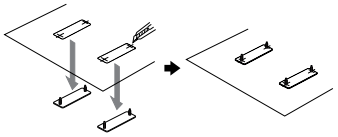
**2** カーペットを外して金具を固定します。



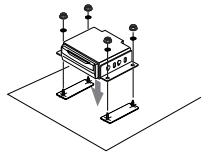
**3** 地図ディスクプレーヤーを取り外します。



**4** カーペットに穴をあけてかぶせます



**5** 地図ディスクプレーヤーを固定します

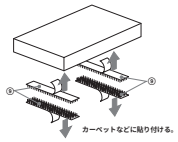


## TVチューナーユニットの取り付け

助手席の下などに取り付けてください。

ご注意
・直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。
・ナビゲーションシステムと組み合わせて使いになるときは、TVチューナーユニットと地図ディスクプレーヤーは、できるだけ離して設置してください。ナビゲーションシステムの近くに設置するとテレビ画像に影響が出ることがあります。

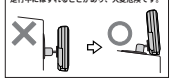
マジックテープⓐでカーペットなどに取り付ける。




## モニターを取り付ける前に

本機のモニターは、安全性を重視して設計されております。
正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。
取り付ける前に、必ず下記事項の確認を行なってください。
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。

ご注意
不安定な取り付けは絶対にお避けください。
走行中にはずれることがあり、大変危険です。

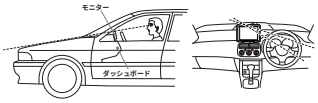


### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。

### 取り付け位置のポイント

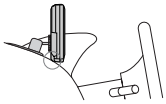
・運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端よりも上に出ない。
・極端に目線を下げる位置に設定しない。



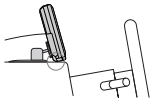

### 取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

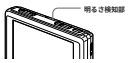
ダッシュボードが曲面の場合
モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



ダッシュボードが平面の場合
モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



ご注意
・モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。（キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。）また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、駐車中には別売りのモニターカバー（GM-42）などで覆うなどして、日光が直接当たらないようにしてください。
・モニターを取り付けるときは下記の明るさ検知部を覆ったり、ふさいだりしないよう取り付けてください。




## モニターの取り付け

「モニターを取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行なってください。

**1** ダッシュボードの形状に合わせて、スタンドⓖを曲げる。
曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

**2** クリーニングクロスⓖで取り付け面の汚れを取る。

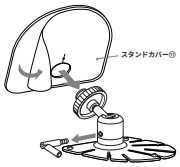
**3** 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。

ご注意
・取り付け面の表面温度が低い（20､C以下）と両面テープの接着力が弱くなるので、ヒーターなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
・取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
・取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

**4** 固定用ネジⓖで固定する。

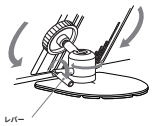
ご注意
取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

**5** スタンドカバーⓗを接着する。




**6** モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。
車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。
調節後はネジを締めて固定します。

**7** レバーをゆるめて角度を調節する。
調節後はレバーをしっかり締めて固定します。




## トランスミッターアンテナの取り付け

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
コードは乗り降りの妨げにならないように処理してください。

両面テープⓘでシート側面などに取り付ける。

ご注意
・取り付けるときは、電源をOFFにしてから行ってください。
・放送局の送信アンテナに近い場所や、車両のFMアンテナの位置によって、また、断熱ガラスを用いた車両では良好に受信できない場合があります。
・出力はステレオです。

## FMトランスミッターの動作確認をする

付属のFMトランスミッターアンテナを接続したときは、次の手順でカーオーディオからテレビの音声が出ることを確認してください。

1 モニターのPOWERスイッチを入れる。
2 FMチューナーの電源を入れる。
3 周波数を合わせる。
FMトランスミッター周波数切り換えスイッチで、設定した周波数（76.7MHzまたは78.7MHz）に合わせます。
くわしくは、XTL-610用の取扱説明書の「カーオーディオで音声を聞く」をご覧ください。

## TVアンテナについて

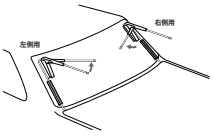
ご注意
・このアンテナは、リアウインドウ取り付け専用タイプです。
・アンテナはテープの剥がれがなく、確実に固定されているか使用前に必ず確認してください。
・アンテナ取り付け後は、ネジの取り付け状態を時々点検し、緩みのある場合は増し締めしてください。
・自動洗車機の使用は避けてください。
・アンテナ本体、アンテナエレメント、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。（変形、破損の原因となります。）
・車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナが設置されている場合、それらの影響を受ける場合があります。十分な確認のうえ、アンテナの位置を変更するなどして、離して取り付けてください。
・カーオーディオのラジオ用アンテナがリアウインドウプリントアンテナの場合、AMラジオ受信時に雑音が入ることがあります。この時は、アンテナの位置を変えるなど、AMラジオに影響のないところへ取り付けてください。
・つぎのような場所では、映りにくくなることがあります。
1.ビルとビルの間　2.高圧線、送電線付近
3.飛行機が近くを飛んでいる場合　4.電車が近くを走行している場合
5.山や放送局から遠い場所　6.トンネル内
7.ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

## TVアンテナの取り付け

### アンテナを取り付ける前に

・アンテナエレメントが車体より出ない所を選んでください。車体より出ていると、目に当たるなどして大変危険です。
・ガラス面部がきつく、取り付け金具がガラス面に合わない場合、はがれる危険があるためできるだけ平らな部分に取りつけてください。
・取り付け金具を貼り付ける場合、取り付け面に水気があると接着力が低下し、はがれる危険性があります。湿気（雨、霧時など）の高いときは、貼り付け面を十分に乾燥させてください。
・取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウインドデフォッガー、ドライヤーなどを使用し、温めてから貼り付けてください。
・アンテナ取り付け後、すぐに走行してもさしつかありませんが、24時間以内に水をかけたり、雨にあてたり、アンテナにカを加えるようなことはしないでください。
・アンテナの左右を間違えないようご注意ください。

取り付け例




### 取り付けかた

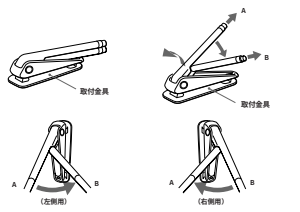
**1** 不織布ⓔにクリーナー液ⓔを染みこませ、貼り付け面に付着している油、ワックス、ほこりなどの汚れを拭きとる。クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きする。

**2** アンテナから取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる。
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

**3** 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

### アンテナの使いかた

アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっぱいにのばし、エレメントBを内側へ倒します。（取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。）

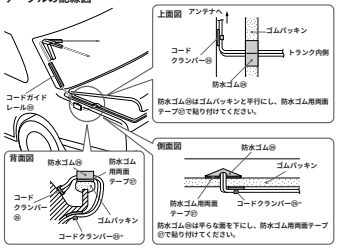



### アンテナコードの配線

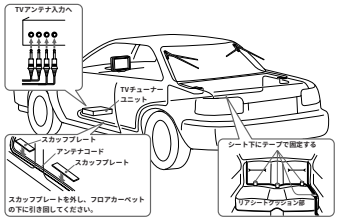
#### 配線をする前に

・アンテナコードの配線位置は、高熱部を避けてください。
・車の雑音を受ける場合がありますので、コードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行ってください。
雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。

#### ケーブルの配線図




＊このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。
トランク内への水漏れの原因となります。




## GPSアンテナの取り付け

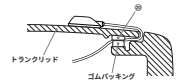
### 車外に取り付ける場合

#### 取り付け位置のポイント

・トランクなどの上に取り付けます。
・できるだけGPS衛星からの電波が遮られない場所に水平に取り付けてください。

**1** トランクリッドなどの上に取り付ける

**2** トランクリッドの裏側に、クッションⓘを取り付ける
雨水がアンテナコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッションⓘが当たるように取り付けてください。




アルミやFRPボディの車に取り付ける場合
アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

ご注意
・アンテナコードを車外でたるませたままにしないでください。
・アンテナコードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパーⓘをご使用ください。
・アンテナを取りはずすときにアンテナコードを引っ張らないでください。

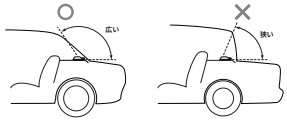
### アンテナの塗装について

アンテナは車のボディーカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料（メタリック系の塗装など）は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

### 車内に取り付ける場合

#### 取り付け位置のポイント

・リアトレイやダッシュボードに取り付けます。
・平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。




できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に遮る場所がない場合は、車外のトランクの上などに取り付けてください。

**1** アンテナに両面シールⓘを貼り付ける

**2** はくり紙をはがして接着する

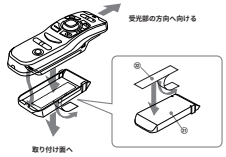
## リモコンの取り付け

### 取り付け位置のポイント

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

ご注意
次のような場所への取り付けは避けてください。
・シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
・運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。

リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付ける
クリーニングクロスⓖで、取り付け面をさいにしてから取り付けてください。



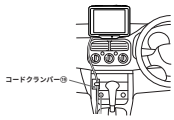

ご注意
・直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。
・リモコンはダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たる場所に取り付けないでください。熱により、リモコンが変形するおそれがあります。

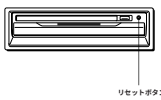
## 取り付けと接続が終わったら

### コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。
コードがシフトレバーなどにからまると、非常に危険です。

**1** 助手席側にコードクランパーⓖで固定してください。




ご注意
・ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。
・ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。

**2** 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押してください。